

72

大阪医蹟めぐりガイドの作成(第3報)

竹中 裕昭

竹中医院

【目的】

昨年の大会にて「大阪医蹟めぐりガイド(大阪市内版)」を報告した。今回は初心者向けでない医蹟も含め、対象を大阪府下に広げた大阪医蹟めぐりガイドを作成した。

【方法】

対象：大阪府下の医蹟

手段：

- ①大阪府医師会が所有する資料による調査を行った
- ②文献調査を行った
- ③現地訪問調査を行った

【結果】

大阪市内に56箇所、大阪市以外の大阪府内に7箇所の医蹟が存在した。それらを編年体風に提示する。

- ①神話の時代：大国主神社，少彦名神社
- ②飛鳥時代：勝鬘院愛染堂(施薬院跡)，四天王寺湯屋方丈(療病院跡)，四天王寺病院
- ③平安時代：安倍晴明神社
- ④南北朝・室町時代：小楠公義戦跡碑
- ⑤織豊時代：太閤下水
- ⑥江戸時代：一心寺・本多出雲守忠朝墓所(酒封じ祈願)，片桐棲龍堂，狸坂大明神，太平寺，近畿大学医学部図書館(華岡青洲資料を所蔵)，月正島跡(大坂人体解剖発祥之地)，麻田剛立先事館跡，小石元俊衛生堂(衛生館)跡，橋本宗吉絲漢堂跡，難波島跡，伏屋素狄顕彰碑(阿弥陀池和光寺)，伏屋屋敷跡・伏屋一族墓所(和泉市万町)，中天游邸跡，除痘館発祥の地，除痘館記念資料館，適塾，オランダ宿跡(愛珠幼稚園)，龍海寺(中天游，緒方洪庵，賀川南龍墓所，大村益次郎足塚)，禅林寺(古林家墓所)，円珠庵(大阪華岡一族墓所)，誓願寺(中井竹山，中井履軒，井原西鶴墓所)，念仏寺(橋本宗吉墓所)，蔵鷺庵(永富独嘯庵墓所)，浄春寺(麻田剛立，大矢家，三井家，各務文献，吉益家墓所)，梅旧院(齊藤方策，淡輪元潜一門墓所)
- ⑦明治時代：浪華仮病院跡，法性寺(ボードウィン寓居跡)，舎密局跡，大阪府医学校・大阪病院跡(大村益次郎卿殉難報告之碑)，北御堂，大阪大学中之島センター(大阪大学医学部中之島キャンパス跡)，ほたるまち(大阪大学医学部附属病院跡・福沢諭吉生誕地)，大阪大学医学史料展示室，大阪大学医学部エルメレンス記念碑(吹田市)，明治天皇聖躅・臨時軍事病院跡(大坂城本丸)，大阪鎮台病院跡(大坂城二の丸)，大阪陸軍病院跡(大手前病院)，鶴満寺(大阪避病院発症之地)，大阪市立桃山病院跡(大阪初の感染症専門病院)・大阪市立総合医療センター(桃山病院の遺構を保存)，桜の宮水源池跡・大阪城配水池(大阪市水道発祥之地)，松島公園(大阪府立駆籠病院跡)，大阪府立難波病院跡，医事合同社会合開催地跡(三橋楼跡)，聖バルナバ病院(日本聖公会最古の病院)，大阪慈恵病院跡，薄病院跡(直木三十五のアルバイト先)，四天王寺北墓地(高橋正純顕彰碑，吉田顕三墓所)，阿倍野墓地(森鼻宗次，臼田馬造，高安道純墓所)
- ⑧大正時代：一心寺・大正八九年流行感冒(スペイン風邪)病死者群慰霊碑
- ⑨昭和時代：大阪医科大学(日本最初の5年制医学専門学校)・大阪医科大学歴史資料館，大阪女子医学教育発祥之地(関西医科大学牧野キャンパス)，大阪陸軍病院金岡分院跡(金岡公園北東部)，大阪赤十字病院(GHQに接収)，大阪市立大学杉本町キャンパス(GHQに接収)

【考察】

大坂夏の陣，戊辰戦争，大阪大空襲，都市化，大学の郊外移転などにより，大阪市内に残る医蹟は非常に少なく，石碑すらない箇所も少なくない。今後，AR(Augmented Reality/拡張現実)技術の導入などで，医蹟の魅力向上に努める必要がある。

大阪で最初の医療を行ったのは，459年来日した高麗の医師，徳来で，難波に住み，子孫代々医を業とし，難波の薬師と称せられるという記載があるが，具体的にどこでどのような医業を行ったのかについては明らかでない。また，昨年記述したが，適塾発祥の地は今も一箇所に特定できていない。今後の大きな課題である。

今回，大国主神社，少彦名神社，安倍晴明神社，本多出雲守忠朝墓所や直木三十五のアルバイト先である薄病院跡なども医蹟として含んであるが，どこまで医蹟として含めるかも課題である。